



## 日御碕神社 ひのみさきじんじやー ☎0853-54-5261

日御碕神社は権現造りで神の宮(上の宮)と日沉宮(下の宮)に分かれ、神の宮は素盞鳴尊、日沉宮は天照大神が祀られています。この「日沉宮」は【出雲国日御碕清江の浜に日沉宮を建て、日御碕大神宮と称して日本の夜を護る】との神勅により祀ったのが始まりと言われています。現在の建物は、徳川三代家光公の命により10年もの歳月をかけ寛永21年に完成したものです。本殿蛙股を中心とする見事な彫刻は、江戸時代の貴重な建築として国の重要文化財に指定されています。

## 隠ヶ丘 かくれがおかー

出雲の国づくりを終えた素盞鳴尊が、根の国から「吾の神魂はこの柏葉の止まる所に住まん」と、柏の葉を投げ舞い降りたのがこの地。



## 出雲 日御碕灯台 —いずもひのみさき とうだい—

参観時間9:00-16:30 ☎0853-54-5341  
参観料200円(中学生以上) / 灯台資料展示室無料

奇岩や絶壁が続く景勝地、国立公園の一部である日御碕。その先端に立つ、紅白互灯の一等灯台で、基礎上43.65メートルあり、明治36年4月1日初点で、48万カンデラ、光達距離約40キロ、石積みの灯台としては日本一の高さを誇るもので、「世界の歴史的灯台百選」の一つです。平成25年には、国の登録有形文化財に指定されました。

大山隠岐国立公園

# 日御碕

H I N O M I S A K I

## 見どころ情報

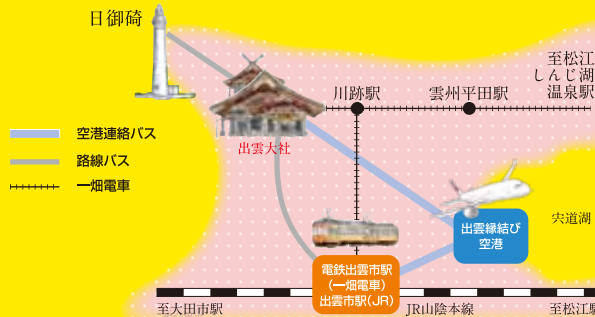
表面の マークの箇所をたっぷり紹介します!

日本遺産

## 日が沈む聖地 出雲

～神が創り出した地の夕日を巡る～

島根半島西端の海岸線、ここから眺める夕日は絶景です。そこは、出雲神話の舞台でもあります。そして、この地には夕日にちなんだお社があります。それは「天日隅宮」(出雲大社ご本殿)、「日沉宮」(日御碕神社下の宮)です。古来、出雲の人々はこの地の夕日を神聖なものにとらえ、畏敬の念を抱いてきました。今でも、海に沈む美しい景色は日が沈む聖地 出雲の祈りの歴史を語り続けています。



お問い合わせ

出雲市観光課 tel:0853-21-6588  
(一社)出雲観光協会 tel:0853-53-2112(月曜日)  
出雲観光ガイド  
<http://www.izumo-kankou.gr.jp/>  
日御碕観光案内所  
<営業時間>9:00~17:00 tel.0853-54-5400



## 経島 ふみしまー

天照大神が現在の日御碕神社に祀られる前に鎮座されていたという経島。この島は日御碕神社の神域として神職以外の立ち入りは禁止されており、年に1度、8月7日の祭事のときに神職のみが渡ることが出来ます。

また、ウミネコの繁殖地として有名で国の天然記念物に指定されています。ウミネコは毎年11月下旬から12月上旬に飛来し、7月中旬までこの島に棲息し、ひなの成長をまって飛び去っていきます。

## 柏陵園 はくりょうえんー

日本海に面し、柱状節理石英角斑岩の上で、北西の風に耐え、倒れるようにして育った松の林を柏陵園と呼んでいます。遊歩道が整備され、休憩場所や展望台も設置されています。ここから見る夕日はとても美しく、多くの人がそのすばらしさを称えています。また、灯台下から北側に進むと見える入り江は大小の島が形よく並び、日本三景松島にちなんで、「出雲松島」といわれています。



## 海の幸がまんさい

散策路には商店やお食事処が点在しています。店先で売っているサザエの壺焼き、肉厚でジューシーなイカ焼きなど、香ばしい匂いが漂い食欲をそそります。干物やのり・わかめ、その時季折々のめずらしいお土産が手に入ります。お食事処では、新鮮な海鮮丼「みさき丼」がおすすめ、季節や日によってネタも様々。地元であがった海の幸を贅沢に盛りつけ、ごはんと一緒に豪快に味わえる一品です。

## 宿泊施設連絡先

銀海	0853-54-5300	御碕屋本店	0853-54-5066
幕島	0853-54-5428	おおみや荘	0853-54-5118
すぎはら	0853-54-5065	たかはし	0853-54-5404
西亀荘	0853-54-5036	ふじ	0853-54-5522

ちどり荘	0853-54-5101
ことぶき荘	0853-54-5231
あさづ荘	0853-54-5227
きむら荘	0853-54-5109